

ヒアリング項目

成人式に関してどのような関わりがあるか。

- ・成人式において、女性は振袖、男性は羽織袴など和装で式典に参加する習慣が定着しており、七五三の祝と同様に日本における和装文化に触れる重要な機会となっています。
- ・写真館はこの機会に、振袖・羽織袴などで成人式の肖像写真や家族写真を残すことで写真を「文化」とし、一生に一度のかけがえのない成人式の晴れの姿を記憶と記録に留め、今後の人生の糧とする絶好の機会と考えます。

成人式を行うことの意義についてどのように考えるか。

- ・婚礼において和装を着用することが減少した今日、永い歴史を持ち日本の伝統文化といえる和装を継承し、自覚をもって主体的に和装を着用する唯一の機会と呼べるのが、成人式と思われれます。
- ・成人式の意義とはこれを機会に、成年の自覚をもって社会に参画し、社会もそれを祝うことにより、更に良い社会の実現に寄与するものと考えます。

成年年齢が18歳に引き下げられた後の成人式の対象年齢や時期等についてはどうあるべきと考えるか。(特定の年齢・時期に成人式を実施するメリット・デメリットについて)

- ・民法による成年が、18歳に引き下げるとは全く異議はありません。ただし、飲酒・喫煙・競輪競馬等などの制限は20歳のままであるため、すべての制限がなくなる20歳を対象に、国の施策の上「はたちの記念日」として現行通り二十歳(はたち)の成人式式典の開催を各地方自治体に希望します。
- ・現在、各地方自治体で開催されている20歳での成人式が18歳を対象に変更された場合、祝日法で定められている1月第2月曜日である成人式の日に行われると、対象年齢の18歳の多くは大学受験を前にした時期でもあり、センター試験と重なり式典などへの参加減少が見込まれます。
- ・各地域での多くの成人が一堂に集う習慣がなくなり式自体が衰退し、同時に長い歴史を持ち日本の伝統文化といえる和装の衰退にもつながることが大きな問題として憂慮されます。

以上

平成30年11月22日

一般社団法人 日本写真文化協会 会長
協同組合 日本写真館協会 理事

堀 恵 介